

留 学 報 告 書

記入日: 2014年6月21日



所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部国際日本学科
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: アイオワ大学 現地言語: The University of Iowa
留学期間	2013年8月～2014年5月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	Liberal Arts and Sciences
帰国年月日	2014年5月30日
明治大学卒業予定年	2016年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期: 8月中旬～12月下旬 2学期: 1月下旬～5月中旬
学生数	
創立年	1847年

留学費用項目	現地通貨(USD)	円	備考
授業料		円	
宿舍費	7,120	円	
食費	1,365	円	ミールプランの値段
図書費		円	
学用品費		円	
教養娯楽費		円	
被服費		円	
医療費		円	
保険費		125,370円	形態:
渡航旅費		250,000円	
雑費		円	
合計		円	

渡航関連

渡航経路: 成田→ミネアポリス→シーダーラピッズ

渡航費用

チケットの種類 片道
 往路 153,560 円
 復路 _____
 合計 _____

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

明治大学のリエゾンデスク、エクスぺディア

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例: アパート、大学の宿舎など)

寮

2) 部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数1人)

3) 住居を探した方法:

大学のホームページ

4) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

キャンパスから遠めの寮だったので不便だった。

現地情報

1) 現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった
 利用した:

2) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

特になし

4) パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

大学関連の建物(寮も含め)ではどこでも問題なく Wifi が使えた。

5) 現地での資金調達はどうに行いましたか? (例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

クレジットカードとキャッシュパスポートを併用。寮費等、大学にお金を払うときは、クレジットカードが使えなかったため、現地で銀行口座を開設した。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

進路について

1) 進路

就職 進学 未定 その他:

2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など

3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。
(例：留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)

5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。

7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
33 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to International Studies	
科目設置学部・研究科	International Studies
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義
授業時間数	1週間に 50 分が 3 回
担当教授	Michael Andrew Zmolek
授業内容	International Studies の基本概念や世界各地域を国際問題の観点から学ぶ。ゲストスピーカーによる講義が主。
試験・課題など	Map quiz(定期的), Take-home exam(短めのレポート), Essay(レポート), Final Exam(take-home exam で選択問題、短めの記述問題、Mini essay、秋学期学んだ全範囲)
感想を自由記入	学ぶ範囲が多岐に渡りすぎていて少し大変という感じはしたが、前期にこの授業を取ることで自分の興味分野がわかり、私にとっては良かったと思う。レポートの評価は厳しめだったが、教授は留学生に理解があり、とても協力的だった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Developed and Developing Places	
科目設置学部・研究科	International Studies
履修期間	8 月～10月(秋学期の半期)
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	少人数授業
授業時間数	1週間に 240 分が 2 回
担当教授	Jerry Croft
授業内容	教授が選んだいくつかの先進国、発展途上国について学ぶ。教授の講義というよりは、自分で調べたり、生徒の発言やプレゼンから学ぶという感じ。
試験・課題など	Project4つ(レポートのようなもの), Final exam(記述)
感想を自由記入	授業が半期だったので、短いスパンで課題がでたので大変だった。しかし、学部生の TA がとても親切で、よく質問していた。Field trip が授業の終わりにあり、楽しかった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
First-Year Russian I	ロシア語
科目設置学部・研究科	Liberal Arts and Sciences
履修期間	秋学期
単位数	5
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	
授業時間数	1週間に50分が5回
担当教授	Olga Kulikova
授業内容	ロシア語を学ぶ Beginner クラス。
試験・課題など	宿題が毎日。毎週 Vocabulary quiz。1Chapter 終わるごとに Lab で Speaking の練習。文法のテスト4つ。Final Exam(文法のテストと同じ)
感想を自由記入	毎日授業に出席し、宿題をしっかりこなせばついていける授業。私は語学が好きなので、良い成績をとることができ、教授にも気に入ってもらえた。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
ESL Academic Reading Skills	
科目設置学部・研究科	
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	
授業時間数	1週間に50分が3回
担当教授	Molly Kelly
授業内容	学期の前半は小説、後半は漫画の Reading がメイン、他短編の Reading、教科書で Reading の Strategy を学ぶ。
試験・課題など	Reading の Quiz、Mid-term exam、Final exam(final は Reading をとっている留学生共通試験)
感想を自由記入	ESL は先生によって授業内容が変わるが、私がたまたまとったセクションの先生はとても熱心で、Reading の内容も興味深いものが多かったし、ディスカッションの多い雰囲気とても有意義な授業だった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Globalization and Geographic Diversity	
科目設置学部・研究科	Geography
履修期間	春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	週3回のうち講義2、ディスカッション1
授業時間数	1週間に50分が3回
担当教授	Claire Pavlik
授業内容	講義セクションでは教授の講義を聞き、ディスカッションセクションでは講義で習ったことをもとに TA がだした課題についてディスカッションしたり、グループワークを行う。
試験・課題など	Mid-term exam2つ、Final exam。レポート4つ。
感想を自由記入	テストと課題が多かったが、自分の興味がある内容だったのでおもしろかった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Geography of Asia	
科目設置学部・研究科	Geography
履修期間	春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Margaret Carrel
授業内容	南アジア、東アジア、東南アジアの国々について学ぶ。
試験・課題など	Map quiz3つ、News report3つ、Mid-term exam2つ、Final exam。
感想を自由記入	とてもおもしろい授業だった。外国で日本について学ぶ機会としても興味深かった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
First-Year Russian II	
科目設置学部・研究科	
履修期間	春学期
単位数	5
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	
授業時間数	1週間に50分が5回
担当教授	Olga Kulikova, Olesia Lyskovtseva
授業内容	First-Year Russian I の続き
試験・課題など	First-Year Russian I と同様
感想を自由記入	扱う文法が難しくなっていたが、よりロシア語が好きになった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
ESL Academic Listening Skills	
科目設置学部・研究科	
履修期間	春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	
授業時間数	1週間に 分が 回
担当教授	Arashdeep Sangha
授業内容	さまざまな英語(TED Lecture 等)のリスニング
試験・課題など	毎週 Listening Log を提出。頻りに Listening quiz や Vocab quiz が行われる。
感想を自由記入	課題が多かった。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等（形式は箇条書きなど簡単なもので構いません）

2012年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	語学留学(1か月)
10月～12月	TOEFL 受験、出願、選考
2013年 1月～3月	
4月～7月	VISA 面接等留学前の手続き
8月～9月	出発、授業開始
10月～12月	秋学期終了、冬休み
2014年 1月～3月	冬休み、春学期開始
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	将来世界を舞台に活躍したいという思いから、海外経験を積み、語学能力を向上させることはもちろんのこと、世界や国際関係に興味があるので、外国で様々なバックグラウンドを持つ学生達と一緒に、日本とは違う視点から勉強したいと強く感じ、留学を決意しました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	アイオワ大学に以前留学していた先輩に話を聞きました。留学前の情報収集はとても大切だと思うので、留学先について調べたり、先輩に話を聞いたり、同じ時期に留学する人と情報を共有する等すると思います。また、留学先でとる授業もあらかじめ決めておきましょう。私は、留学前はどたばたして、国際日本学部の授業以外で英語を勉強するということではできませんでしたが、語学に勉強しすぎはないので、出発ぎりぎりまでできる限り英語を伸ばしておくのがベストだと思います。また、アイオワ大学には日本人が少なく、日本についてよく知っておく必要があります。自分は日本の代表なんだという心意気で留学に臨んでください。
この留学先を選んだ理由	勉強に集中できる田舎に行きたかったというのと、日本人が少ない点からアイオワ大学を選びました。また、大学のレベルも高い方だったので、自分の留学先に最適だと感じました。
大学・学生の雰囲気	アイオワ大学のあるアイオワシティには、はっきり言って大学以外何もありません。したがって、アメリカ留学に華やかなイメージを持っていたり、都会生活や Shopping を楽しみたい人には向かないかもしれません。しかし、自分からイベントに参加したり、積極的に行動すれば、楽しいことはたくさん見つけられると思います。東海岸や西海岸とは違い、中西部ということもあって、学生の雰囲気は少し留学生に対し閉鎖的と感じることもありましたが、留学に興味のある学生や日本に興味のある人達もたくさんいました。また、留学生について言うと、交換留学生は少なく、正規の留学生は中国人がほとんどです。
寮の雰囲気	フロアによって違うと思いますが、私のフロアは留学生や 2 年生以上が多く、比較的静かで落ち着いた雰囲気でした。寮では定期的にイベントが行われていましたが、一部の人は参加していない小規模なものでした。
交友関係	教室移動の関係もあり、授業が終わると皆あつという間に教室を出してしまうので、クラス内で友達を作るのは難しかったです。イベント等に参加したり、自分から積極的に行動することで、友達できました。また、留学の最初の方は自分を追い込みすぎて、アメリカ人と友達にならないと英語が上達しないと考え、自分で友達の幅を狭めてしまっていました。しかし、それは自分のことしか考えていないし、とてももったいないことだと気づき、アメリカ人だろうが留学生だろうがアジア人だろうが日本人だろうが関係なく色々な人と過ごすようにしたら、とても気持ちが軽くなり、友達も自然とどんどん増えていきました。みなさんもあまり考えすぎず、一人一人の出会いを大切にしてください。
困ったこと、大変だったこと	一番悪戦苦闘したのは、勉強と遊びのバランスです。勉強が思っていたよりも大変で、最初のうちはどうしていいかわからず、勉強を理由に友達からのせつかつの誘いをたくさん断ってしまっていました。しかし、こもって勉強するだけではもったいないと感じ、勉強するときはする、遊ぶときは思いっきり遊ぶとメリハリをつけられるよう、努力するようにしました。また勉強をする時も、なるべく友達を誘って一緒に勉強するようにしました。
学習内容・勉強について	私は主に International studies の授業を履修しました。文系の授業に共通なことだと思いますが、reading の量が膨大でした。授業についていくのは大変でしたが、教授や TA、クラスメイト等、たくさんの人に助けってもらい、徐々に要領を掴んでいきました。これは留学中に学んだことのひとつですが、自分から声をあげて助けを求めれば、手助けしてくれる人は必ずいるということです。急なハプニングや絶対無理だと思うことがあっても、自分から働きかければ全部なんとかなりました。
課題・試験について	基本的に試験や課題がない時がないので、毎日勉強の日々でした。アメリカのレポートの形式の厳しさも実感しました。
大学外の活動について	ボランティア活動に参加しました。

留学を志す人へ	<p>留学する際に一番大切なことは、留学の目的、目標をしっかりと定めることです。これは面接のためということではなく、目的が曖昧だと後で辛くなるのは自分だからです。実際私も、留学中辛いことなどがあると、なぜ私は留学したんだろう、と自分を少し見失ってしまいそうな時もありました。そういった時、確固とした目的を定めていたら乗り越えやすいですし、また頑張ろうと思えるはずですよ。自分を見つめ直し、自分なりの留学の目的をしっかりと考えてみてください。また、留学先も外国ならどこでもいいと投げやりにならず、ちゃんと自分の目標が達成できる、自分に合った場所、学校をしっかりと検討し、選んでください。最後に、留学は本当に自分次第だと思います。留学前の手続きは決して楽しいものではないけれど、面倒くさがらずにしっかり事前準備をし、留学中も積極的に自分から行動し、たくさん勉強して、充実した留学生活を送ってください。</p>
---------	--

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	授業	授業	授業	授業	授業		
	自習	自習	自習	自習		洗濯	
午後	授業	授業	授業	授業		自習	
	自習	授業	自習	授業			JSSC (日本人会)
夕刻	友達と夕食	自習	授業	委員会	友達と過ごす		自習
夜	自習		自習	自習			